

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2025年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- [1] 別紙の練習会場の使用日程、注意事項に基づき練習することができる。
- [2] 練習に際しては競技役員の指示に従い安全に留意して行う。

3. 招集について

- [1] 招集所は北サブゲート内に設ける。入場は北サブゲートからとし、ADカードを着用する。
- [2] 招集開始時刻、完了時刻は競技開始時刻を基準として、下記のとおりとする。

区分	種 目	ラウンド	招集開始	招集完了
トラック競技	全種目	予選・準決勝・決勝	30 分前	15 分前
跳躍競技	三段跳・走幅跳・走高跳	決 勝	60 分前	45 分前
	棒高跳	決 勝	100 分前	90 分前
投てき競技	全種目	決 勝	60 分前	50 分前
混成競技	十種競技	両日の第1種目	30 分前	15 分前
	七種競技	第1日目の第1種目	30 分前	15 分前
		第2日目の第1種目	45 分前	30 分前

- [3] 混成競技の第2種目以降については混成競技者控え場所に待機し、トラック競技は競技開始15分前までに、フィールド競技は競技開始30分前までに、混成競技系の誘導で競技場所に集合する。混成競技の控え場所は、男子はトレーニング室(1)、女子はトレーニング機器室に設置する。
- [4] 招集の方法

①1次コール

各種目ともグーグルフォーム（以下、フォーム）で、出場の意思確認をすることで1次コールとする。意思確認は、8月21日12:00から、大会で実施される全種目に対して行うことができる。
[意思確認について]

- ・トラック種目は各種目の第1組、フィールド種目は各種目の招集開始時刻の、それぞれ2時間前までに完了させる。（リレー種目は2時間30分前まで完了とする）
ここで出場の意思確認のできない者（チーム）は欠場とみなす。「欠場届」は不要。
- ・トラック競技の準決勝、決勝についてはフォームによる意思確認は行わない。欠場する場合は欠場届を提出すること。
- ・フォームへは「埼玉陸協ホームページ」もしくはプログラム記載の「QRコード」からアクセスできる。 ※「参加」「不参加」の意思表示後、変更する場合は再度フォームに入力すること。

②最終コール

各種目の定められた時刻に招集所で競技役員の点呼を受ける。その際、アスリートビブス、スパイク、靴底の厚さ、商標の点検を受ける（商標については、競技会における広告および展示物に関する規定参照）。なお代理人による点呼は認めない。

- ③複数種目同時に出場する競技者は、第1種目の招集完了時刻30分前までに、「多種目同時出場届」を招集所に提出する。「多種目同時出場届」はTICで配付する。

4. アスリートビブス

- [1] アスリートビブスは配布された大きさのまま、胸・背に確実に付ける。ただし、跳躍競技の競技者は胸または背中どちらか一方だけでもよい。
- [2] トラック種目では、腰ナンバーカードを左右の腰後方に付ける。ただし、4×100mR及び4×400mRは第4走者のみでよい。腰ナンバーカードの配付は招集所で行う。

5. 競技場への入退場

- [1] 競技場への入場はすべて競技役員の誘導による。入場の際にはADカードを着用する。
- [2] トラック競技出場者はフィニッシュライン到着後、フィールド競技出場者は競技終了後、いずれも競技役員の指示により南マラソンゲートより退場する。
- [3] 入退場の際、各競技者の衣類等の荷物は各自で管理する。
- [4] トラック競技の衣類等の荷物の運搬
 - ①トラック競技（混成競技を含む）のうち、男女100m、男女200m、男子110mH、女子100mH、男女4×100mR第4走者の荷物は競技役員が南マラソンゲートに運搬する。
 - ②4×100mR走者の荷物は各走者のスタート地点の荷物置き場で管理する。競技終了後、各自で荷物を回収し、第1、第2、第4走者は南マラソンゲート、第3走者は北サブゲートより退場する。
- [5] 第1位から第3位までの入賞者は表彰式のため、競技役員の誘導によって入賞者控所に移動する。

6. 競技の抽選並びに番組編成（レーン順・試技順）

- [1] トラック競技（予選）

出場の意思確認をうけ、レーン順を主催者が抽選で決定し、競技開始時刻の90分前に埼玉陸協ホームページ（速報サイト）に掲載する。

※出場選手数により、プログラム競技日程表の「組」「着」「プラス」が変更になる場合がある。
- [2] トラック競技（準決勝、決勝）

組み合わせ及びレーン順は、予選（準決勝）終了後番組編成を行い、埼玉陸協ホームページ（速報サイト）に掲載する。
- [3] トラック競技の次ラウンドへの進出

次ラウンド進出者を決める際に同記録があった場合は、1/1000秒単位で着差判定をして進出者を決める。それでも決定できないときは同成績とし、抽選により進出者を決める。
- [4] フィールド競技の番組編成

試技順は主催者が抽選で決定し、プログラム及び埼玉陸協ホームページ（速報サイト）に掲載する。

7. 競技

- [1] フィールド競技
 - ①フィールド競技の競技場内での練習はすべて競技役員の指示に従って行う。フィールド競技の練習は原則2回とする。棒高跳の練習はゴムバーを使用する。
 - ②跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを置くことができる。使用するマーカーは現地において競技役員が配付する。
 - ③棒高跳の競技者は、あらかじめ支柱の位置を所定の「アップライト申告書」に記入し、競技場所入場後に棒高跳の競技役員に提出する。アップライト申告書はTICで配付する。
 - ④男女の走幅跳と三段跳はA・Bの2ピットで行う。トップ8もピットを変えずに行う。
 - ⑤三段跳の踏切板の位置は、砂場から男子13m、女子10mとする。
 - ⑥円盤投、ハンマー投は投てき場で競技を行う。
 - ⑦走高跳・棒高跳決勝のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決まるまで次のとおりとする。ただし、気象状況等によっては審判長がバーの上げ方を変更する場合がある。第1位が同成績の場合、順位決定試技のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

種 目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.80 2.00	1.90	1.95	2.00	2.03	2.06	2.09	競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまで、3cmずつ上げる。
	女子	1.50 1.60	1.55	1.60	1.65	1.68	1.71	1.74	
棒高跳	男子	4.30 4.80	4.50	4.70	4.80	4.90	5.00	5.05	競技者が最後の一人になり、優勝が決まるまで、5cmずつ上げる。
	女子	2.80 3.30	3.00	3.20	3.40	3.50	3.60	3.65	

⑦混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

種 目		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.45 1.80	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	以後3cmずつ上げる。
	女子	1.25 1.50	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	
棒高跳	男子	2.60 3.60	2.80	3.00	3.20	3.40	3.50	3.55	以後5cmずつ上げる。

*混成競技の最初の高さについては、競技場所で検討し変更する場合もある。

[2] リレー競技

- ①リレーに出場するチームは、オーダー用紙を各ラウンドの第1組の招集完了時刻の60分前までに招集所に提出する。オーダー用紙はTICで配付する。
- ②リレー競技で使用マーカーは主催者が用意し、出発係が配付する。マーカーの除去は使用したチームが必ず行う。

[3] 抗議

- ①抗議は、WA競技規則TR8に定められた時間に競技者自身又は代理人が、次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にTICを通して担当総務員に口頭で申し出る。審判長が再度検証し、担当総務員を通して裁定を伝える。
- ②審判長の裁定に不服の場合は「上訴申立書」に記入の上、預託金10,000円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内に大会本部に申し出る。「上訴申立書」は大会本部に用意する。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員を通して伝える。なお、預託金は抗議が却下された場合は返却しない。

[4] 助力

- ①競技者が競技場所を離れる場合は競技役員に申し出る。
- ②ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォンもしくはそれらに類似した機器を競技場内に持ち込んではいならない。
- ③助言または映像機器の視聴は、競技運営並びに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。

[5] その他

- ①発雷等の荒天により主催者が大会の継続を困難と判断した場合は、競技を中断し状況に応じて大会を中止とする場合もある。この場合は参加料の返金を行わないものとする。
- ②競技結果その他、参加者及び関係者に連絡する事項は埼玉陸上競技協会Webサイト等に掲載する。

8. 警告

WA競技規則CR18.5の規定により、不当な行為をした競技者やリレーチームにイエローカード（YC）を提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し種目ごとにリセットする。同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以降の他の種目の出場は可能である。YC提示の累積は、当該種目のみに適応する。

9. 競技用器具

- [1] 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外すべて主催者が用意したものとする。ただし、競技場に備え付けのない投てき用具は持ち込みを認める（日本陸連検定品に限る）。希望者は競技開始時刻の120分前から60分前までに、TICに申し出て配布される「投てき用具検査申請書」とともに投てき用具を提出する。その際「投てき用具預かり証」を発行する。
- [2] 持ち込みを認められた投てき用具は、競技終了後「投てき用具預かり証」を確認しTICにて当該競技者に返却する。
- [3] 棒高跳のポールの検査は競技開始前に競技場所にて行う。

10. 競技用靴

- [1] スパイクのピン数は11本以内、長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投の場合は12mm以内とする。また、ピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- [2] 競技に出場する競技者のシューズは招集所にて靴底の厚さの確認をする場合もある。

11. 表彰

- [1] 各種目の1位～3位までには賞状とメダルを、4位～8位の入賞者には賞状を授与する。
- [2] 各種目1位～3位の入賞者（リレーを含む）は競技終了後、直ちに表彰を行うので競技役員の誘導のもと、正面玄関内、表彰者控所に移動し待機する。
- [3] 4位～8位の入賞者は、正式発表後30分を目安にTICで賞状を配付する。

12. TICの業務及び提出書類

TICで取り扱う文書等は以下のとおりであるので、提出先受付時間を確認する。

	配付書類及び業務	書類配付場所	提出・受付先（担当）	提出及び受付時間
1	記録証発行受付	TIC	TIC	随時
2	遺失物保管	TIC	TIC	随時
3	抗議申立（口頭）	TIC	TIC	正式記録発表後 15分以内(予選/準決) 30分以内(決勝)
4	上訴申立書（文書）	大会本部	大会本部	審判長の裁定後 15分以内(予選/準決) 30分以内(決勝)
5	撮影許可書	TIC	TIC	競技場来場時
6	多種目同時出場届 欠場届 アップライト申告書 リレーオーダー用紙 投てき器具検査申請書	TIC	招集所 招集所 棒高跳担当審判員 招集所 TIC	競技注意事項記載

13. その他

- [1] 以下の場所は受付時に配付したADカードの提示がないと入場できない。
①補助競技場 ②メイン競技場正面玄関および各諸室 ③招集所
- [2] メイン競技場更衣室を利用することができる。入場にはADカードが必要となる。
男子：男子更衣室102 女子：女子更衣室102
- [3] 暑熱対策や荒天時には競技日程が変更される場合もある。
- [4] 競技会で発生した事故等については、主催者側で応急処置をするが以後の責任は負わない。
- [5] メイン競技場には医務室（看護師常駐）のほか、熱中症対応室（応接室）を設ける。
- [6] 熊谷スポーツ文化公園及び競技関係施設の利用については、プログラムに掲載されている「熊谷スポーツ文化公園及び陸上競技場の使用について」を参照のこと
- [7] 傷害保険に加入しているので、必要な場合は大会本部に問い合わせること。